

第11回 熊本港干潟フェスタ (リニューアル開催しました)

5月29日に、“第11回干潟フェスタ;干潟ふれあい体験・環境学習”を開催し、約700人もの参加者で大盛況でした。「学習コース」では、海の環境と災害、干潟の役割と再生についてのビデオ・アニメーション・パネル展示を行いました。「チリメンモンスター体験」と称した、チリメンジャコの中に混じっている微小生物を虫眼鏡で探すコーナーには人だかりが出来ていました。「研究コース」では、有明海や環境調査船「海輝」の模型展示や、水質調査、アサリ貝の水質浄化パワー測定、世界各地の砂の顕微鏡観察など楽しい研究体験をしてもらいました。「干潟体験コース」は、隊長先導のもと干潟の生物や泥の観察をする“探検隊”，干潟のなかを自由に遊ぶ“どろんこ隊”，干潟の泥の中を穴掘機で覗く“もぐら隊”の実体験コースで、子供たちの大きな歓声が、干潟中に響き亘っていました。

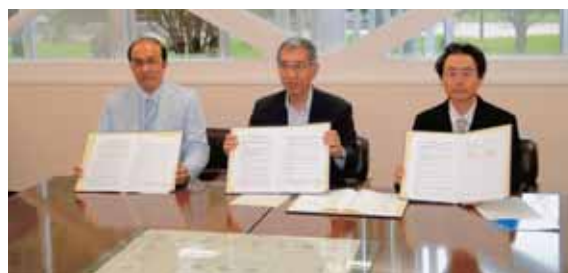


「干潟体験コース」の“探検隊”
これ何だろう！

港湾空港技術研究所と教育・ 研究連携協定を締結しました

2010年7月6日付けで、熊本大学沿岸域環境科学教育研究センターおよび大学院自然科学研究科は、独立行政法人港湾空港技術研究所と教育・研究連携協定を締結しました。

本協定の締結により、港湾空港技術研究所の研究員が、熊本大学で客員教員として研究教育の指導や、大学の学生(大学院生)が当該研究所に出向いて、より現実的な課題の勉強や研究指導を受ける事が可能となりました。さらに、熊本大学と当該研究所における最新の研究の進展や普及を促進することが可能となり、より充実した教育・研究環境が整備されました。今後、いっそうの連携が図られることが期待されます。



調印式:左から、西山 忠男:熊本大学自然科学研究科長、
金澤 寛:港湾空港技術研究所理事長、
滝川 清:熊本大学沿岸域環境科学教育研究
センター教授

実習・観察会報告 - 合津マリンステーション -

2010年7~8月に、合津マリンステーションでは以下の7つの実習を実施しました。

- (1) 熊本西高理数科実習(31名),7月6~7日.
- (2) 熊本県生物部研修会(58名),7月10~11日.
- (3) 一般公開実習(高校生対象,7名),7月17~18日.
- (4) 臨海実習 II(熊本大学理学部3年生対象,14名),8月6~10日.
- (5) 女子中高生理系進学支援事業・乙女サイエンススクール in 天草(41名),8月10~12日.
- (6) 大学公開実習(4名),8月18~24日.
- (7) キッズラボ・サイエンスキャンプ(小学生対象,38名),8月25~26日



干潟の生物の採集 (熊本西高校)

この他にも、上天草市と共催で、海蛍の夜間観察会を3回、干潟生物観察会を2回行っています。